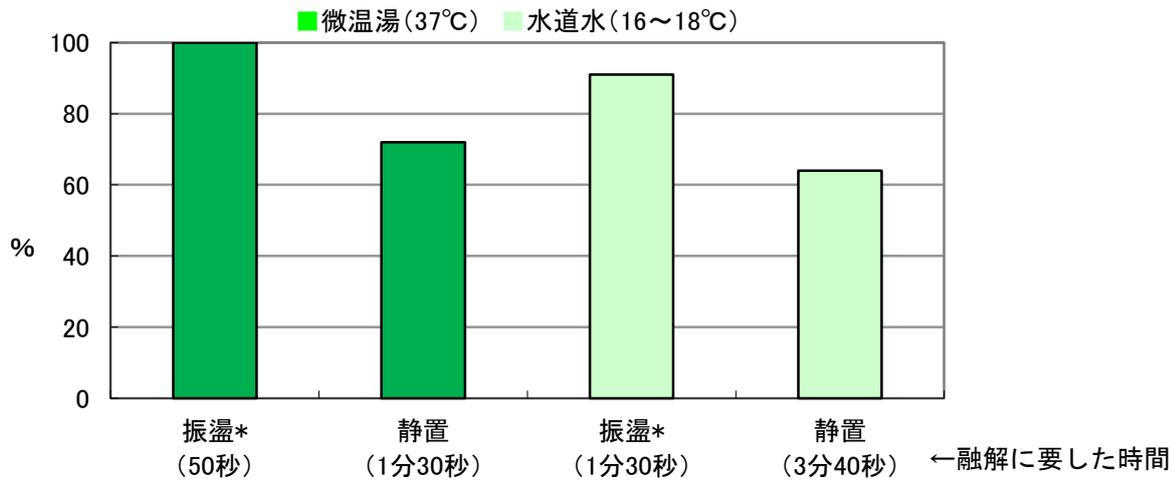


アンプルの融解条件がワクチンウイルス量に与える影響

(微温湯中において緩やかに振盪して融解させた場合のワクチンウイルス量を 100 とする)



*:緩やかに（軽く）振盪

☆アンプル中には凍結時は細胞を保護しても、融解後には損傷を与える物質が含まれていますが、マレック/バッグの中には、ワクチンの細胞を守る成分が含まれています。アンプルの融解は短時間で行い、融解後は直ちにマレック/バッグに注入して下さい。

※1984年試験 ワクチンウイルス株：七面鳥ヘルペスウイルス FC-126株（以下、HVT株）